

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いるかの教室		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 9 日	～	令和 7 年 1 月 22 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52件	(回答者数) 42件
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 9 日	～	令和 7 年 1 月 22 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 7 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所外での体験活動、屋内外問わず多様な活動の提供。	・子どもたちが「楽しみ」や「やってみよう」という期待感を持って参加できるように計画をし、提供している。 ・子どもたちの状況に合わせて配慮を行いながら、みんなが楽しく、安全に参加できるように状況に応じた対応をしている。 ・さまざまな活動の計画を職員全員で検討している。	・子どもたちが意見を言いやすい環境を作り、その中で子どもたちと一緒に計画を立てていながら、主体的に参加できる機会も取り入れていく。
2	・保護者同士の交流の機会の提供	・保護者同士交流の場を提供し、同じ悩みの相談や情報の共有の機会の場を設定している。 ・経験豊富な職員も交えている。	・多くの保護者に参加の機会を提供できるように、曜日の検討をし、固定化しないように取り組んでみる。 ・専門職も参加し、充実した交流の場にしていく。
3	・専門職による専門的な支援（個別療育、小集団療育）の提供	・段階に合わせてプログラムを考え、子どもたちの意見も聞き、織り交ぜながらプログラムを構成し取り組んでいる。 ・楽しさや自信に繋げるためにも前向きな関わり方を行っている。	・専門職が不在の際でも取り組みが出来るように、専門職との連携を図りながら積極的に個別療育を取り入れていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の子どもたちと交流する機会の提供	・学校などの先生とは、関係機関の会議もあり連携が取れているが、放課後児童クラブや児童館との連携を図る機会が少ない。 ・どんな社会資源があるのか、知識不足	・どんな社会資源が地域にあり、自分の達の活動の中に取り入れることができるのか検討していく ・放課後児童クラブや児童館など地域の方々とも連携ととっていく。 ・地域の方々も参加できる活動を計画していく
2	・家族支援プログラムの充実（職員のさらなる質の向上）	・ペアレントトレーニングについて、職員の十分な知識不足	・ペアレントトレーニングについて職員の研修を充実化していく。
3	・保護者同士の交流の機会に対する参加率が低い	・保護者同士の交流の機会の提供を行ってきたが、学校行事等重なり、参加は少ない時もあった。 ・学校行事の把握不足 ・曜日を固定してしまったことによって、保護者の参加率が低くなってしまった。	・学校行事の把握 ・曜日を平日や土日などに分散し沢山の保護者に参加してもらえるよう工夫をしていく。 ・早めに保護者への周知